



●2021年度当初予算(原案)の特徴

1万円未満切り捨て

Table with 3 columns: Category, Budget Amount, Previous Year Comparison. Rows include Age Out (General, Special, Total) and Age In (Special Tax).

※保留財源:2億円
復活要求:1月27日迄

- ＜主な特徴＞ 新規及び拡充事業の抜粋
○子育て関係の施策
▽2021年度の保育園増設計画なし [2020年10月の待機児645人]
・渋谷区子育てネウボラ(8月移転・開設)
※放課後クラブで有料プログラム実施(全校へ拡大)
○障害者のための施策
・恵比寿生活介護事業(渋谷区くるるえびす)運営 恵比寿西2丁目複合施設内
○介護・高齢者のための施策
※高齢者デジタルデバйд解消事業 ※一部の高齢者にスマホを貸与・サポート体制の実証実験
・敬老金贈呈経費 ※1万円の現金給付で予算化
・高齢者補聴器購入費助成事業 ※中等症が対象 片耳35000円×50人分
・かなみの杜・渋谷(ケアセンター跡地複合施設) ※2021年3月～順次開設 特養84床など
・高齢者、心身障害者紙おむつ購入費助成 ※第2号被保険者(要介護1以上)に拡大
※民生委員ICT推進基盤整備事業
○区民施設等
・笹塚区民施設外壁改修
▽伊豆・河津保養所の運営継続
○学校教育のための施策
※学校施設庁寿命化計画・実施計画策定 ※学校統廃合、周辺公共施設の集約化
・普通教室改修(長谷戸小、幡代小、笹塚小、富谷小)、特別支援学級改修(中幡小)
・本町学園校舎増築工事(みどりの丘公園に、図書室、放課後クラブ室を増設)
・【幼稚園】スクールサポートスタッフ配置 ※全5園に各1人
・学校図書館システム運営費(小・中)
○健康・スポーツのための施策(コロナ対策を含む)
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ※18億円
・感染症患者搬送用自動車導入/渋谷区PCRセンター運営(現施設を継続)
・オンライン健康相談事業
○防災・まちづくりのための施策
・情報配信サービス提供業務委託 ※登録した電話に、災害時防災無線を自動発信
・避難所ペット用テント(第1/3期)(11台)
・非常用発電機(要配慮者用)(33台)
・本町地区防災都市づくりランドデザイン実行関係委託
※主要生活道路2・3・6・13号線拡幅整備(本町地区)
※渋谷本町学園第二グラウンド複合施設(仮称)実施設計業務委託
・民間賃貸住宅入居促進事業(見守りサービス等の初期費用負担)
・分譲マンション耐震アドバイザー派遣
・一般・特別緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成 ※店舗、事務所まで拡大
○都市施設整備のための施策
▽渋谷駅周辺再開発事業への税金投入
渋谷駅街区北側自由通路整備、渋谷駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業、渋谷駅南口北側自由通路、都市計画道路補助18号線整備事業など
▽玉川上水旧水路緑道整備 ※緑道上施設等の基本設計から実施設計
※ササハタハツまちラボの運営 ※玉川上水、水道道路の利活用(2年目)
▽都市再生ステップアップ・プロジェクト(旧児童会館跡地等の開発事業に参加)
○デジタル化とIT産業等のための施策
▽スタートアップ支援事業 ※海外企業を呼込むワンストップ窓口開設など
▽5G通信インフラ整備補助金 ※アンテナ基地局を道路、公共空間に整備
▽スマートシティ推進事業 ※住民情報を産官学民で活用
▽小中学校教育ビッグデータ活用事業 ※タブレットに蓄積された個人情報の活用
○その他
※敬老館3館の民間委託
※資産管理等適正化研究支援業務委託 ※区の資産管理に民間の力を活用
※経常経費適正化による行政コスト削減の推進 ※民間の力で経常経費削減
▽国保料、介護保険料は、第1回定例会までに明らかにします

※:住民の立場で注視する必要あり ▼:大企業のための事業や無駄な事業、区民の願いに背

渋谷区2021年度当初予算(原案)内示される

コロナ対策、福祉・くらしに冷たく、大企業には大盤振る舞い

1月21日、渋谷区2021年度当初予算(原案)が、区議会全員協議会で示された。(左表参照)
一般会計は、前年度比2.6%減の99.4億1529万1千円、特別会計は45.5億5889万7千円(2.2%減)で、歳出総額は14.9億7418万8千円(2.8%減)です。区税収入は、コロナの影響が見通せない中で6.2%減の49.9億123万9千円を見込んでいます。特別会計の内訳は、国民健康保険事業会計23.9億8850万1千円(2.6%減)、介護保険事業会計15.5億9306万6千円(2.8%減)、後期高齢者医療事業会計59億7733万(1.2%増)です。

▽コロナはワクチン頼み
新型コロナウイルス対策では、PCR検査の抜本拡大や医療機関支援、保健所の体制強化、中小業者支援、くらしを守る新たな対策はなく、2月下旬から始まる予定のワクチン

接種頼みです。区民の強い願いであった難聴高齢者への補聴器購入費助成が予算化、敬老金は一人1万円の現金給付が盛り込まれました。一方、保育園の待機児がふれているのに、新年度は認可保育園の増設計画がありません。教育では、小中全クラスでの35人学級の実現には背を向けて、学校統廃合や周辺公共施設との複合施設化、民間事業者に運営・管理

させる学校長寿命化計画を推し進めるようとしています。また、渋谷駅周辺再開発事業には新たに17億円余を投入。海外企業を呼び込むためのスタートアップ支援事業に1億円、IT産業を支援し、区民の個人情報の利活用をすすめるスマートシティ推進事業(1億2千万円)など大企業奉仕には多額の税金を投入します。日本共産党区議団は、コロナから区民のいのちとくらし、営業を守る予算へと転換するため

日本共産党区議団が、2021年度予算原案に対する復活要求書を提出(裏面)